

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901233		
法人名	有限会社つながり		
事業所名	グループホームつながり		
所在地	旭川市北門町9丁目2644-36 (電話) 0166-55-9120		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年11月16日	評価確定日	平成19年12月19日

【情報提供票より】(19年10月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成15年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 4人, 非常勤 7人, 常勤換算	5.46人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000~30,000 円	その他の経費(月額)	15,000~22,500 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (4) 利用者の概要(11月16日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	4	要介護2	1
要介護3	2	要介護4	1
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 86.6歳	最低 74歳	最高 91歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	道北勤労者医療協会旭川北医院・1条通病院・丸山歯科医院
---------	-----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、施設長の長年の想いにより10年前に設立された高齢者住宅から移行されたグループホームである。最後までその人らしく暮らしていくことを基本理念とし、全職員が熱意を持って日々のケアサービスを行っている。事業所は地域の会合の際に開放するなど、近隣住民とも密なる交流が図れており、地域に溶け込んだ生活を実現している。今後も利用者が生き生きと暮らしていくことが期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった衛生管理について全職員で検討し、マニュアルを作成して掲示するなど、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が評価の意義を理解している。また、日々のケアサービスを振り返りながら質の向上に繋がるよう、自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	利用者・利用者家族・町内会会長・民生委員・保育園園長等を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況等について報告し、活発な意見交換を行っている。また、高齢者医療制度についての講演も行われた際には地域住民も多数参加するなど、地域に根ざす事業所づくりが確立している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時に職員は積極的な声かけをし、利用者の暮らしぶり等について詳しく報告して家族の意見・要望を聞いている。家族から意見等を受けた場合はミーティングやカンファレンス時に検討し、日々のケアサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	当事業所は開設当初から地域との連携を大切にしており、地域に密着した暮らしを実現している。近隣住民が頻繁に事業所を来訪したりボランティアの受け入れ・保育園との相互訪問など、地域との交流が密に図られている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域において最後までその人らしく暮らしていくことを盛り込んだ、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の要所に理念が掲示され、職員は常に理念を念頭におきながら日々のケアサービスに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	全職員が地域との交流を大切にしており、町内会会合の際の事業所開放や近隣保育園の来訪・災害時協力体制の確立など、地域との連携が密に取れている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での課題について全職員で話し合い、改善に取り組んでいる。また、今回の外部評価に際しても会議で検討事項について話し合い、全員で自己評価に取り組みサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	利用者・利用者家族・町内会会長・民生委員等を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況や行事等について報告し、活発な意見交換を行っている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市主催の研修会や会議に参加し、事業所の運営等についての相談をするなど、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	2ヶ月に1度事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや心身状況等について家族に報告している。また、家族が来訪時に金銭出納帳を提示し、確認を行っている。しかし、事業所の活動状況等についての報告を十分行うまでには至っていない。	○	今後、利用者の日常生活の様子や事業所の活動状況等について詳しく家族に報告し、より一層の信頼関係を築くことが期待される。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	職員は日頃から家族との交流を図り、家族が気軽に意見・要望等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動や離職が少なく、利用者の落ち着いた生活の支援を実践している。また、職員に変動があった場合の対応方法も十分に検討している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は人材育成の重要性を認識しており、職員の知識や経験に応じた研修に参加する機会を設け、職員は積極的に参加している。研修受講後は報告会を開き、情報の伝達とスキルアップを図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>職員は研修会に参加して情報交換を行ったり、他事業所の見学やネットワークづくりによりサービスの質の向上に繋がるよう努めている。</p>		
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に事業所を見学してもらったり、職員との面談により事業所の雰囲気に馴染んでからの入居となるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者の得意な事を見極め、調理方法や野菜作りを教えてもらうなど、支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員の担当制により、利用者一人ひとりの状態等を細かく把握し、ミーティング時に話し合い情報を共有している。また、家族からの情報収集により利用者の希望を把握し、日々のケアサービスに活かせるよう努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式のアセスメントシートを活用して全職員で話し合い、家族の意見・要望を採り入れながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月から6ヶ月に1度、介護計画の見直しを行っている。また、利用者の状態変化に応じてそのつど利用者本人・家族と話し合い、医療機関とも相談しながら現状に即した介護計画を作成している。作成後は家族に説明し、同意を得ている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者本人・家族の状態に応じて、通院の送迎や外出時の付き添いなど、柔軟な支援を行っている。また、24時間受診できるような医療体制を整えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。また、事業所には看護師が常勤しており、健康状態について利用者がいつでも相談できるなど、適切な医療が受けられるよう配慮している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重要事項説明書に重度化や終末期に向けた指針が記載されており、家族と方針を共有している。また、関係医療機関とも連携が取れており、重度化・終末期への対応を整えている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りや自尊心を損ねることのないような声かけや対応を心がけている。また、面会簿の記載方法についてもプライバシー保護のための検討がなされている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者の体調や生活歴を大切に、その人らしい生活となるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と同じ食卓につき、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。また、一人ひとりの力量に応じて調理や後片付けなどを職員と一緒にしている。また、外食を楽しむ機会も設けられ、食事が楽しみなものになるような工夫をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた週3回以上の入浴支援を行っている。また、シャワー浴や足浴など、利用者の状態に応じた支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付けや植物への水遣りなど、利用者の生活歴を活かした役割を支援できるよう努めている。また、職員は一人ひとりの趣味や気晴らしの支援により、暮らしに張り合いや喜びを見出せるよう取り組んでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園への散歩やスーパーへの買い物など、利用者の希望に合わせた外出支援を行っている。また、事業所の畑での水やりや収穫などを利用者と職員と一緒に楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけることの弊害を十分理解しており、日中は施錠していない。利用者が外出する様子が見られる時はさりげなく声かけをし、利用者の安全面に配慮しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の協力を得ながら避難訓練を実施しており、災害時マニュアルが整備されている。また、地域からの協力が得られるような体制を築いている。	○	事業所の構造上の死角を考慮し、今後繰り返し避難訓練や研修を行うことが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事・水分摂取量を個別に記録しており、職員は情報を共有している。また、一人ひとりの状態に応じた調理方法の工夫がされている。施設長が栄養士で作成後の献立を確認しており、バランスの摂れた内容となっている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共用空間にはソファや椅子が設置され、小上がりもあり利用者は思い思いに過ごしている。また、光・音・温度等も適宜調節されており、居心地の良い空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた家具・仏壇・装飾品等が持ち込まれている。また、各居室に台所・トイレが設置されており、本人が安心して暮らせるような工夫をしている。		

 は、重点項目。